

物流・組立訓練システム

指導者用マニュアル

平成28年6月

(1) システムの起動方法

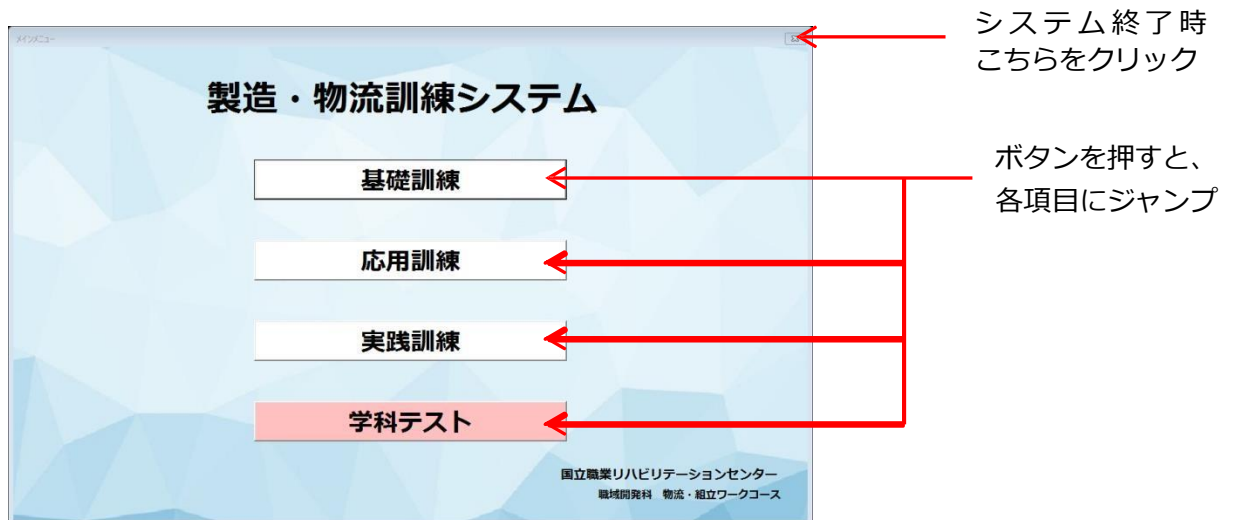
フォルダ「物流・組立訓練システム」内にある「物流組立訓練システム ver1.xlsm」を起動して下さい。

名前	種類	サイズ
物流・組立訓練システム用教材	ファイル フォルダ	
システム使用マニュアル（訓練生用）.pdf	Adobe Acrobat D...	1,113 KB
システム使用マニュアル（指導者用）.pdf	Adobe Acrobat D...	1,657 KB
訓練記録表.xlsx	Microsoft Excel ワ...	335 KB
物流・組立訓練システムver1.xlsm	Microsoft Excel マ...	2,891 KB

ダブルクリック

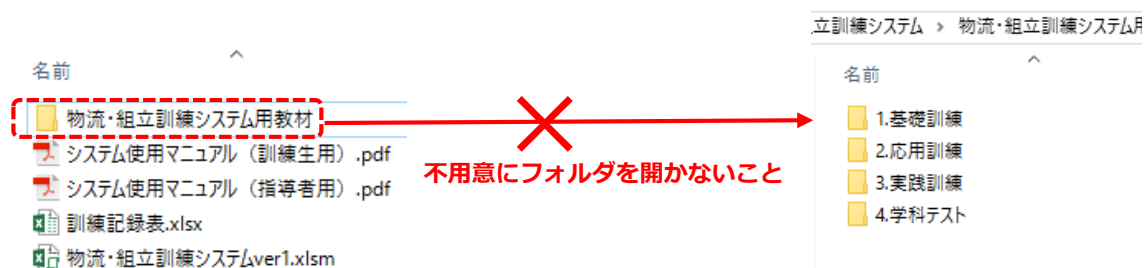
(2) 画面構成

「物流組立訓練システム ver1.xlsm」を起動すると、下記メインメニュー画面が開きます。



(3) 物流・訓練システムに使用される教材

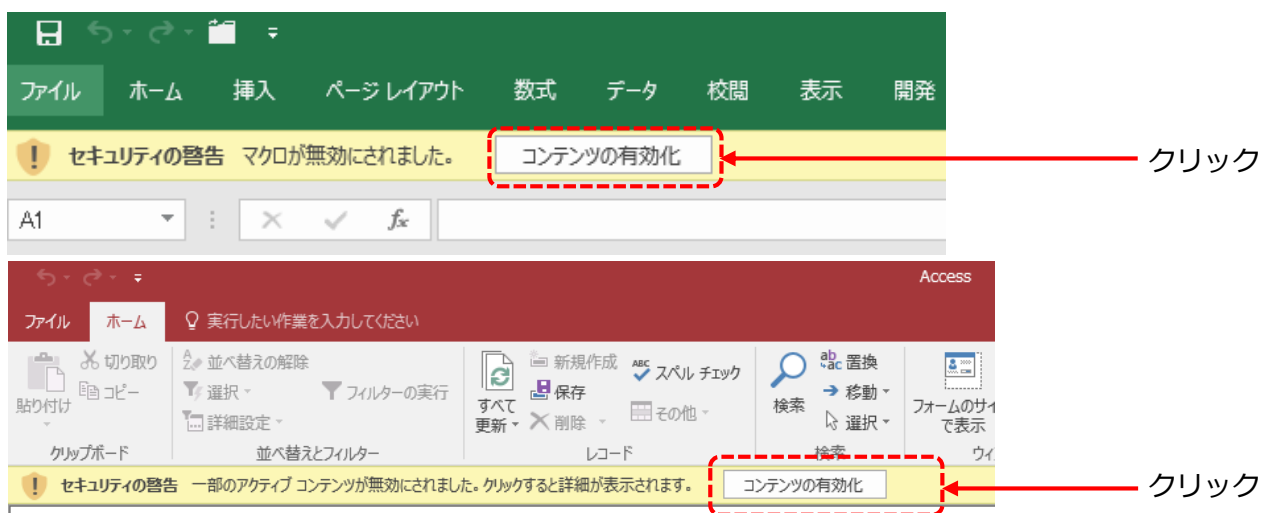
フォルダ「物流・訓練システム用教材」内に訓練に使用する教材が保管されています。基本的に教材を直接開くことはありません。指導員の許可なく内容を編集したり、ファイル名やフォルダの構成を変えたりしないで下さい。システムの動作に影響を与える恐れがあります。



教材のファイル形式は大きく下記 3 種類に分かれます。

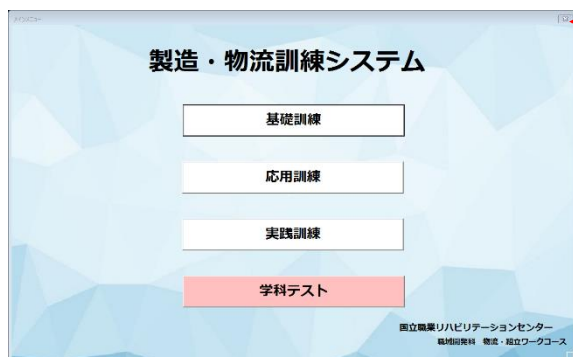
- ① pdf ファイル・・・学科、実技訓練のテキスト
- ② accdb ファイル (Microsoft Access)・・・在庫管理システム
- ③ xls ファイル (Microsoft Excel)・・・学科テスト

※②、③については、起動時に起動時にコンテンツの有効化とマクロを有効にするか尋ねられますので、すべて「コンテンツの有効化」「有効にする」として下さい。

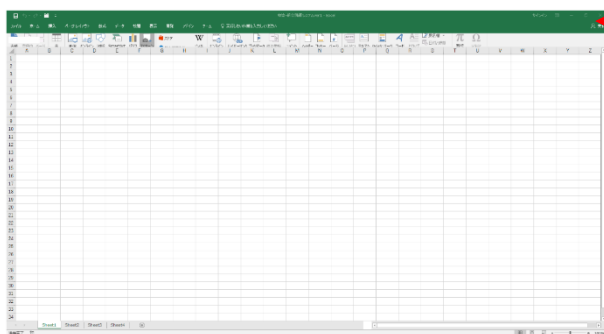


(4) システムの終了方法

メインメニューを閉じると、excel シート「物流・組立訓練システム ver1.xlsm」のウインドウが表示されるので、閉じるボタンをクリックして終了してください。

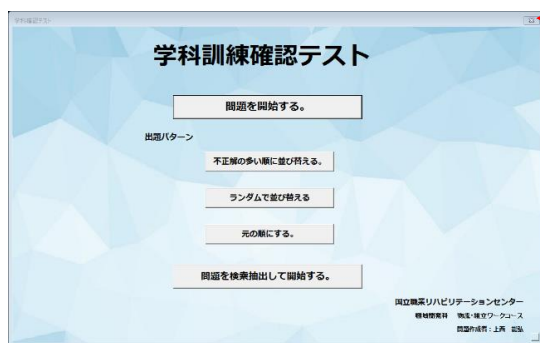


閉じるボタンを
クリック

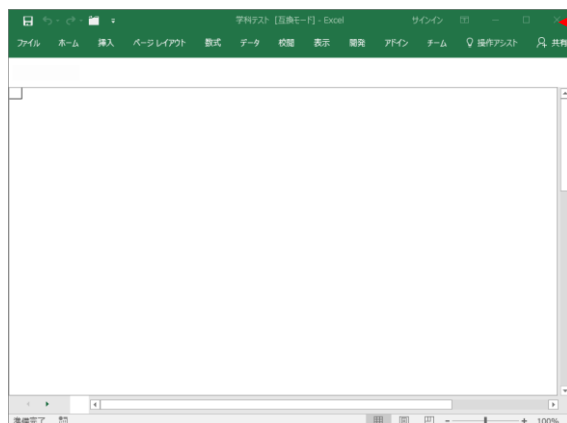


閉じるボタンを
クリック

なお、学科テストのメニュー画面を閉じる際も、同様の手順になります。



閉じるボタンを
クリック



閉じるボタンを
クリック

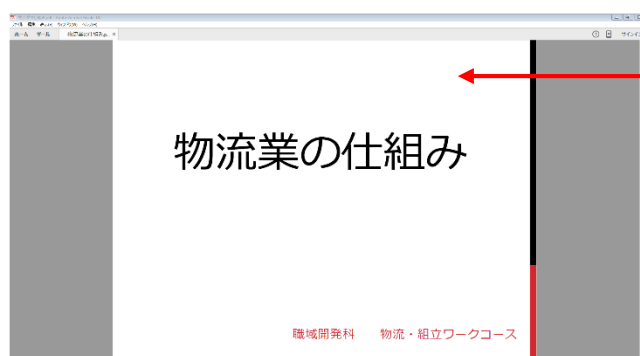
(5) 基礎訓練メニューの操作方法

各訓練項目をクリックすると、該当する作業手順が表示されます。

訓練メニュー「物流業の仕組み」の起動方法を例にとると、以下のようになります。

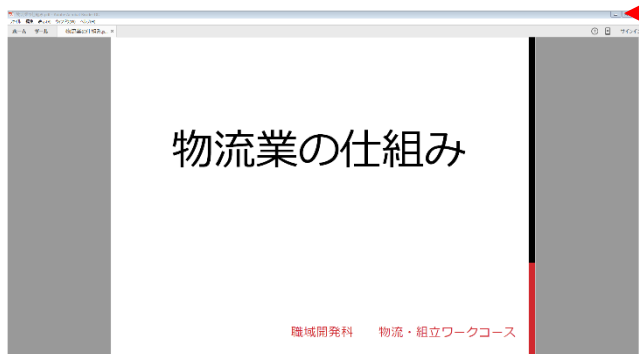


ボタン
「物流業の仕組み」
をクリック



作業手順が表示
される

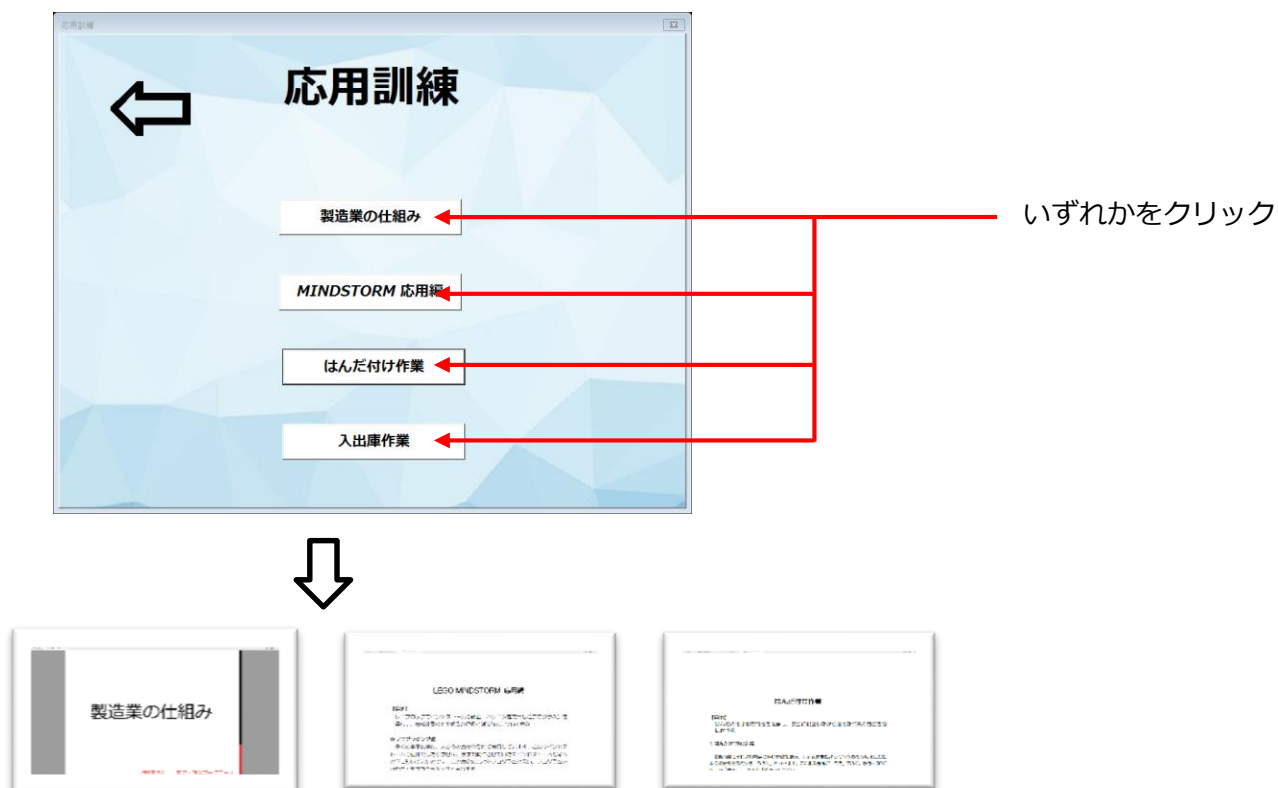
手順書を閉じる際は右上の閉じるボタンをクリックして終了して下さい。



閉じるボタンを
クリック

(6) 応用訓練メニューの操作方法

各訓練項目をクリックすると、該当する作業手順が表示されます。



(7) 実践訓練メニューの操作方法

1. 就業場所の選択

訓練開始時に、就業場所を選択します。

製造系の実践訓練・・・株式会社職域製作所を選択

物流系の実践訓練・・・職域物流株式会社を選択



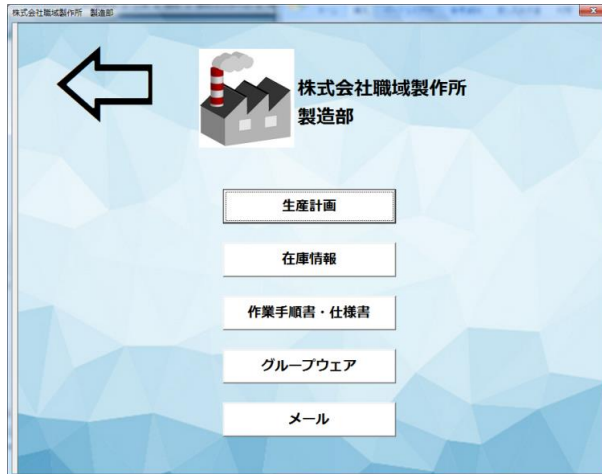
いずれかをクリック

2.株式会社職域製作所の実践訓練メニュー

製造系の実践訓練を行います。電子部品類を仕入れ、社内で製品を組立、検査・梱包して後

述の職域物流株式会社へ出荷します。

下記 5 メニューから構成されます。



業務の流れは以下の通りです。

1. 準備

- ① 物流・組立訓練システムを起動する。実践訓練より株式会社職域製作所を選択
- ② 「グループウェア」をクリック、イベント欄にて作業シフトを確認
- ③ 「生産計画表」をクリック、内容を確認
- ④ 「在庫情報」をクリック、在庫状況を確認する

2. 製造

- ① 生産計画表に基づいて払い出し、払い出し部品は「部品表」を参照する
- ② 払い出し完了後、「グループウェア」にて作業完了の報告
- ③ 払い出された部品について「作業標準書」を元に組立
- ④ 組立て完了後、「グループウェア」にて作業完了の報告
- ⑤ 製品検査
- ⑥ 製品検査完了後、「グループウェア」にて作業完了の報告

3. 梱包、出荷準備

- ① 検査完了後、梱包
- ② 梱包完了後、「グループウェア」にて作業完了の報告
- ③ 梱包済み商品を出荷置き場へ移動

4. 出荷処理

- ① 「メール」をクリック、G-mail にて、注文のメールが届いているか確認
- ② 受注の旨を返信
- ③ 送付された注文書を印刷
- ④ データベースの出庫処理にて受注登録
- ⑤ 集荷リストを印刷
- ⑥ 集荷リストをもとにピッキング
- ⑦ 検品
- ⑧ 出荷（出荷先まで運搬、納品する）
- ⑨ 納品書をメール送信

3.職域物流株式会社の実践訓練メニュー

物流系の実践訓練を行います。上記の（株）職域製作所からの商品や他の仕入先からの商品

受付と店舗への出荷作業を行っている。

下記 5 メニューから構成されます。



業務の流れは以下の通りです。

1. 準備

- ① 物流・組立訓練システムを起動、実践訓練より職域物流株式会社を選択
- ② 「グループウェアへ」をクリック、イベント欄にて作業シフトを確認
- ③ 「入荷予定」、「出荷予定」をクリック、内容を確認
- ④ 「在庫情報」をクリック、在庫状況を確認する

2. 入荷処理

- ① 納品物がある場合は、検収を行う
- ② 棚積みを行う
- ③ 添付されてきた納品書はファイリングする

3. 出荷処理

- ① 「メール」をクリック、G-mail にて、注文のメールがきているか確認
- ② 受注の旨を返信
- ③ データベースの出庫処理にて受注登録
- ④ 集荷リストをもとにピッキング
- ⑤ 検品
- ⑥ 納品書を印刷、商品に添付
- ⑦ 出荷（出荷先まで運搬、納品する）

4. 発注処理

- ① データベースにて在庫不足リストを確認
- ② データベースの入庫処理にて、発注登録
- ③ 注文書を PDF ファイルとして出力
- ④ 電子メールにて仕入先へ発注（注文書 PDF ファイル添付）

4.グループウェア、メールの活用時の ID およびパスワードについて

「実践訓練」ではグループウェア、メールを利用する際、インターネットに接続します。
担当の指導員から配布された ID、PASS を利用してシステムにログインして下さい。

無料で使えるサイボウズLiveで、
チームの情報共有を今すぐスタート

¥0 Free File Task Discussion Calendar

プロジェクトチームの情報共有をもっとスムーズに。
サイボウズLiveは無料で使えるコラボレーションツールです。

➡ 今すぐ試してみる(無料) ➡ もっと詳しく

ログイン

メールアドレス

パスワード

ログイン ログイン状態を保持する

➡ パスワードを忘れた方はこちら

FacebookやTwitterのアカウントで簡単にログイン
できます。

f Facebookでログインする t Twitterでログインする

指導員から指定され
たメールアドレス、ID
を入力して下さい。

Google

アカウント1つですべてのGoogleサービスを。

Gmailに移動するにはログイン

メールアドレスを入力してください

次へ

お困りの場合

アカウントを作成

1つのGoogleアカウントですべてのGoogleサービスにア
クセス

G M A Y D P L S

指導員から指定され
たメールアドレス、ID
を入力して下さい。

(5) 訓練記録表

物流・組立訓練では、日々の訓練記録を専用の記録シートに入力します。

フォルダ「物流・組立訓練システム」内にある「訓練記録表.xlsx」を起動して下さい。各訓練科目別にシートが分かれています。入力後、指導員がチェックを行い、必要に応じてコメントを記載します。

はんだ付け作業記録表

NO	不良項目	減点	A		B	
			数	点	数	点
1	はんだ盛り(イモ付)	15				
2	ヤニ付け	15				
3	付け忘れ	15				
4	線・はんだが動く	15				
5	はんだの流れすぎ	3				
6	はんだの流れ不足	3				
7	はんだ量の多すぎ	1				
8	はんだ量の不足	1				
9	はんだの角数	3				
10	とがの(ツツ)	1				
11	歪み	2				
12	片側が流れ	1				

NO	不良項目	減点	A		B	
			数	点	数	点
13	欠尺	2				
14	寸法違い(全体)	3				
15	作組の清掃	2				
16	終了後の清掃	2				
17	コチの清掃	2				
18	部凸、サラサラ	1				
19						
20						
21	外観		A	0		
			B	3		
			C	6		
	減点合計					

指導員からのコメント

(注)
 ○不良箇所NOを書き入れる
 ○同一箇所2つ以上の不良がある場合は減点数の大きいもの一つとする

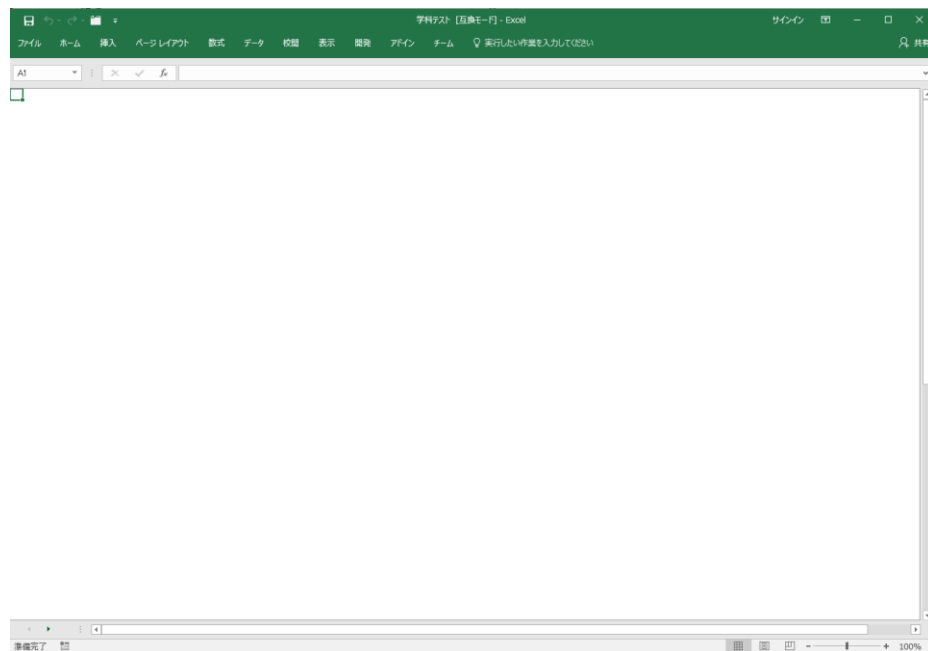
ページ黄色に塗りつぶした箇所が入力できる範囲です

(6) 教材の内容改定について(学科テストを除いたメニューについて)

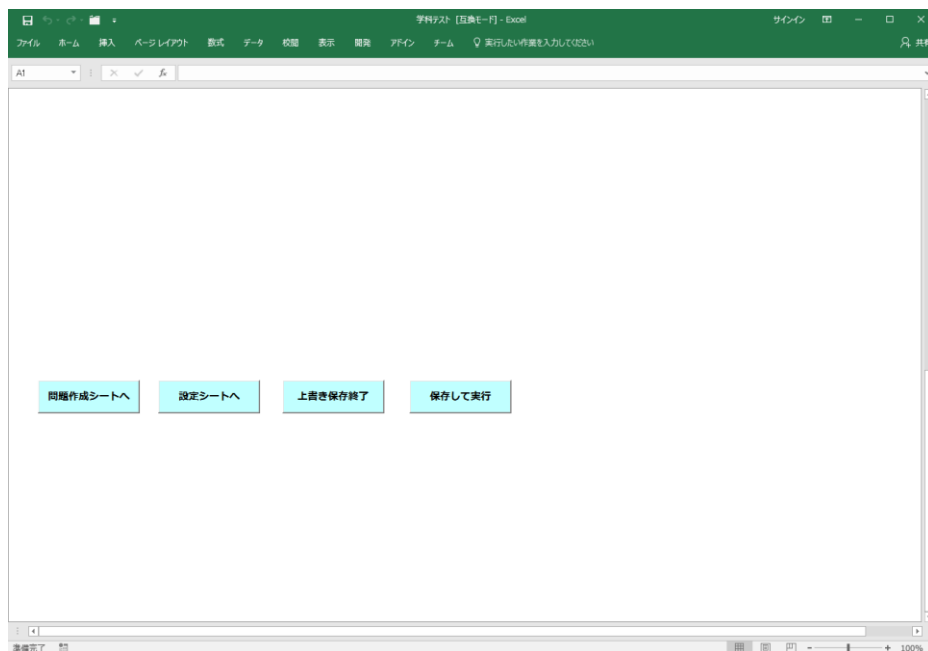
訓練を進める上で、教材の変更が生じた際は、教材管理担当者に相談の上、フォルダ「物流・訓練システム用教材」内のファイルの差し替えを行って下さい。その際、ファイル名は変更前と同じ状態で保存して下さい。システムの動作に影響を与える恐れがあります。

(7) 学科テストのメニューを追加、編集する場合

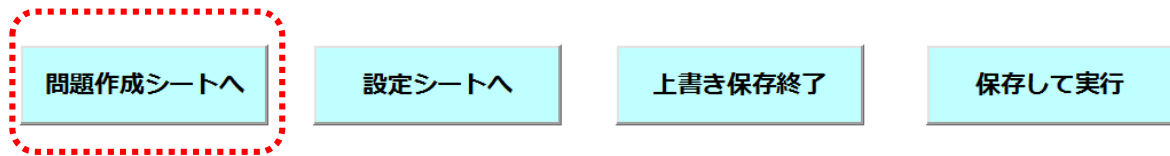
学科テストをいったん起動して、終了して下さい。下記のような画面状態になります。



画面右側のカーソルを下方方向に移動させていくとメニュー操作ボタンが表示されます。



問題を変更する際は、「問題作成シートへ」ボタンをクリックして下さい。



クリックすると、次のような画面に切り替わります。

問題の分野、項目、問題文や解説、解答、難易度の表示を行います。

学科テスト【互換モード】 - Excel														
NO	分野	項目	問題時間	戻る	問題	プレビュー	解説	回答	難易度	画像表示	正解数	不正解数	解答数	不正解率
14	物理	運動	基礎問題		以下の設問について、正しいものを、選択してください。 1. 観測時に観測上の位置を実際の位置に基が生じた場合、上図に報告の上、標準の誤差を実際の位置に修正する。 2. 赤外線、紫外線や可視光線となった場合は、遠く表示を付けて他のものと区別しておく。 3. 観測の目的の範囲に、最も観測点と近い位置をマークすることが求められる。 4. 観測作業は、夜間作業などの電子データ記録にすると効率よく作業できる。	観測（たなおろし）とは、定規測に行われる実際の位置観測を修正するための作業のこと。実際の位置観測で観測点と位置を照らすことから、「実地観測」と呼ばれる。			☆☆		0		0	0.0
15	物理	振動・波	基礎問題		次の【Q】【Q】に入るものの組み合わせを、適切なものを1～4の中から選んでください。 【Q】一仕事の仕事や製品検査を繰り返す間、その仕事を達成するためにどれだけの労力（労力）を必要とするか。これを、労力に換算すること。 【Q】一商品などを取付に納入する際に、商品の種類、数量、単位、合計金額を記して取付先に送るための文書のこと。 【Q】一商品などの取付をする際に、取付の順序のりとつ、品名、数量、納期、支払納期といった取付品が記されている。 選択肢 1. ①取付書の見積書②納品書 2. ①取付書の見積書③納品書 3. ①取付書の納品書④取付書 4. ①取付書の納品書⑤見積書				☆☆		2	9	11	81.8

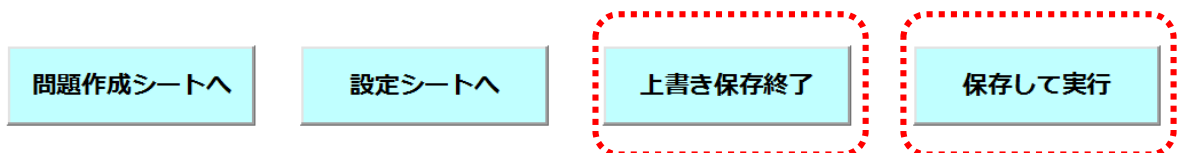
また、問題毎に課題の参考として画像を追加することも可能です。

手順

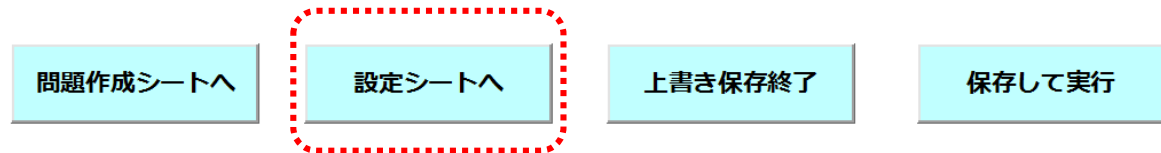
- ①上記「画像表示」欄に、ファイルパス「¥画像¥作成したファイル名.拡張子」を入力
- ②下記フォルダ「画像」内に画像を保存（上記の作成したファイル名と同じであること）

教材コンクール作品一式 > 物流・組立訓練システム用教材 > 4.学科テスト		
名前	種類	サイズ
画像	ファイルフォルダー	
学科テスト	Microsoft Excel 97...	349 KB

設定が完了した場合は、「上書き保存して終了」又は動作確認する場合は「保存して実行」をクリックして下さい。



学科テストの表題やその他、解答パターンの追加などは設定シートで行うことができます。



学科テスト [互換モード] - Excel										
ファイル ホーム 挿入 ページレイアウト 数式 データ 校閲 表示 開発 アドイン チーム 実行したい作業を入力してください 共有										
A1										
A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	
1										
2		戻る								
3										
4										
5			必ず記入する項目		答え	リスト		難問度	リスト	
6		問題集名	物流・組立ワーク コース学科テスト		例1			例1		
7		問題フォーム名	学科確認テスト		例2	1		例2	☆	
8		問題作成者名	豊城開業科 上西能弘		例3	2		例3	☆☆	
9					例4	3		例4	☆☆☆	
10					例5	4		例5	☆☆☆☆	
11					例6	○		例6	☆☆☆☆☆	
12					例7	×		例7		
13								例8		
14			フレーム名の編集					例9		
15	1	NO	問題NO					例10		
16	2	分野	分野					例11		
17	3	項目	項目					例12		
18	4	訓練時期	訓練時期					例13		
19	5	問題	問題					例14		
20	6	解説	解説					例15		
21	7	回答	答え					例16		
22	8	難易度	難易度					例17		
23	9	解答	解答					例18		
24	10	点数	点数					例19		
25	11	正解率	正解率					例20		
26	12	正誤	判定					例21		
27	13	問題に解答する	問題に解答する。					例22		
28								例23		
29								例24		
30								例25		
31								例26		
32								例27		
33								例28		
34								例29		
35								例30		
36		P						例31		
37										
38										

(8) 物流・組立訓練システム全体の構成を修正する場合

ボタンの配置や、システム画面のレイアウト変更、については学科テストプログラムも含めて VBA モジュールの編集作業が必要になります。こちらについてはシステムセキュリティの観点から予めパスワードがかけられています。

教材管理担当者に相談の上、修正作業を進めて下さい。

